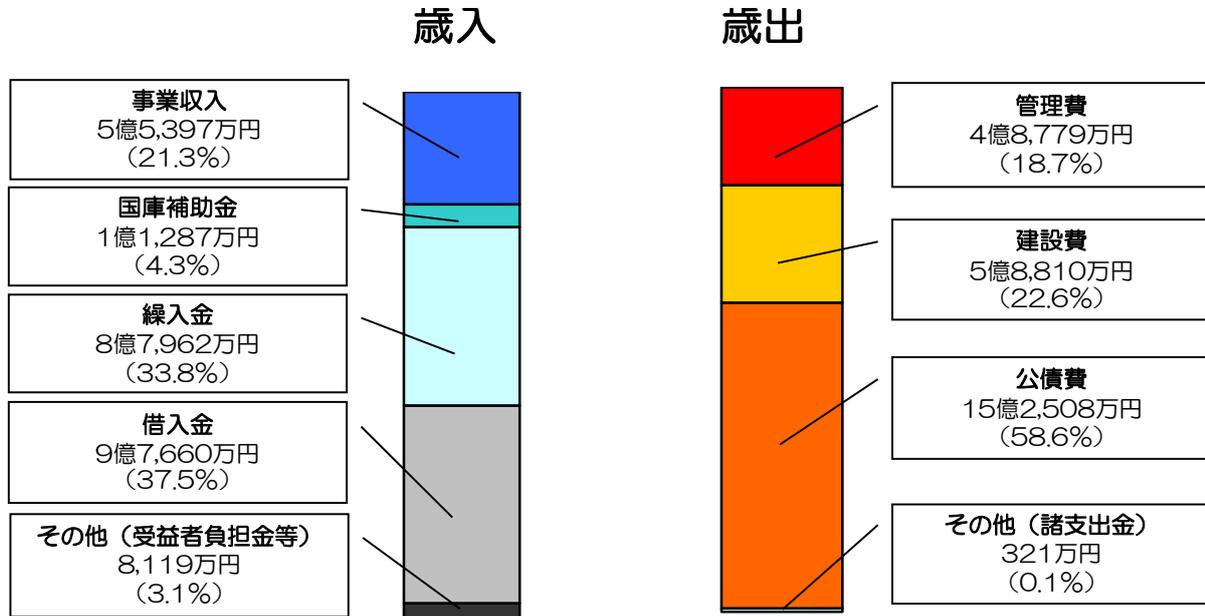


# 平成28年度下水道事業決算の概要

## 1. 決算の概要

(平成29年4月1日から地方公営企業法を適用したことに伴い、同年3月31日での打切決算である。)

歳入	26億425万円	A
歳出	26億418万円	B
歳入歳出差引額	7万円	A-B



平成29年度4月より地方公営企業法の適用のため、平成28年度は出納整理期間が無い3月31日での打切決算となりました。平成28年度下水道事業特別会計の打切決算額は、歳入が26億425万円、歳出が26億418万円であり、歳入歳出差引額は7万円と黒字になりましたが、この全額が平成29年度への繰越事業に充てる財源として繰り越すため、実質収支は0円となりました。

### (1) 主な歳入の内容

- ・事業収入（下水道使用料等）は、5億5,397万円と前年度と比較して1億639万円の減少となりました。これは、使用水量の減少や打切決算などの影響によるものです。
- ・繰越事業を含む建設事業費の減少により、国庫支出金（国からの補助金）が1億1,287万円と、前年度と比較して2億5,870万円の減少、市債（借入金）が9億7,660万円と、前年度と比較して3億2,836万円の減少、繰入金（一般会計からの補助金）については、借入金返済のため8億7,962万円と、前年度と比較して4,020万円の増加となりました。

### (2) 主な歳出の内容

- ・管理費（施設の維持管理費）は、打切決算の影響により、4億8,779万円と、前年度と比較して8,041万円の減少となりました。
- ・建設費（施設の建設改良費）は、繰越事業を含む建設事業費の減少により、5億8,810万円と、前年度と比較して4億9,445万円の減少となりました。
- ・公債費（借入金の元利金返済）は、借換えに伴う繰上償還金の皆減により、15億2,508万円と、前年度と比較して8,033万円の減少となりました。

### (3) 主な事業の内容

- ・調査計画策定事業については、公共下水道事業の全体計画を見直し、整備区域の縮小案を策定しました。
- ・公共下水道事業では、片山津処理区として打越町、高塚町ほか、大聖寺川処理区として山中温泉旭町、山代温泉10区、保賀町ほかで管渠等の整備を進めました。
- ・農業集落排水施設事業では、三木地区において、2度目の管路工事を実施しました。